

# たんばささやま



干支のぬいぐるみ「寅」  
会員作品



## シルバー人材センターの基本理念

センターは、「自主・自立・共働・共助」の基本理念に基づき、会員の総意と主体的な参画により運営する組織です。

自主=自分たちのものとして考える

自立=自分たちの力で育てる

共働=一緒にやって働く

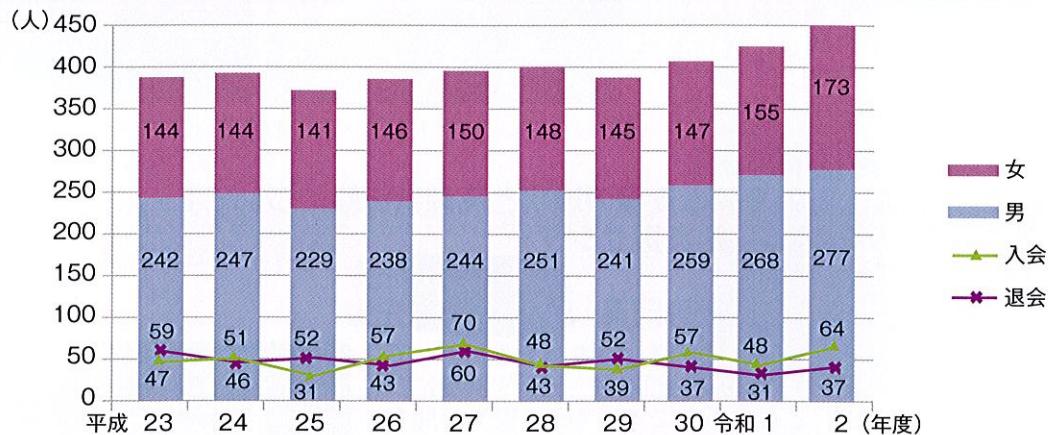
共助=たがいに助け合う



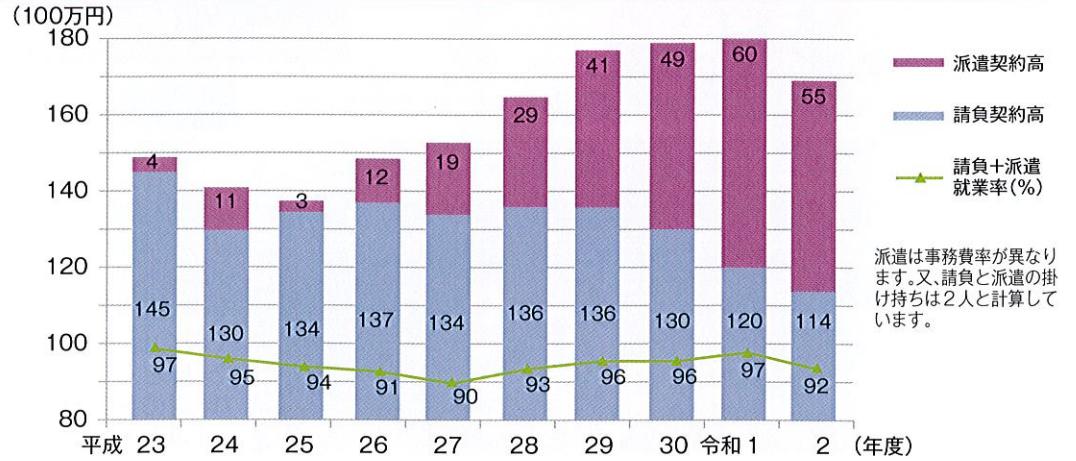


## 丹波篠山市シルバーカー人材センター10年間の推移

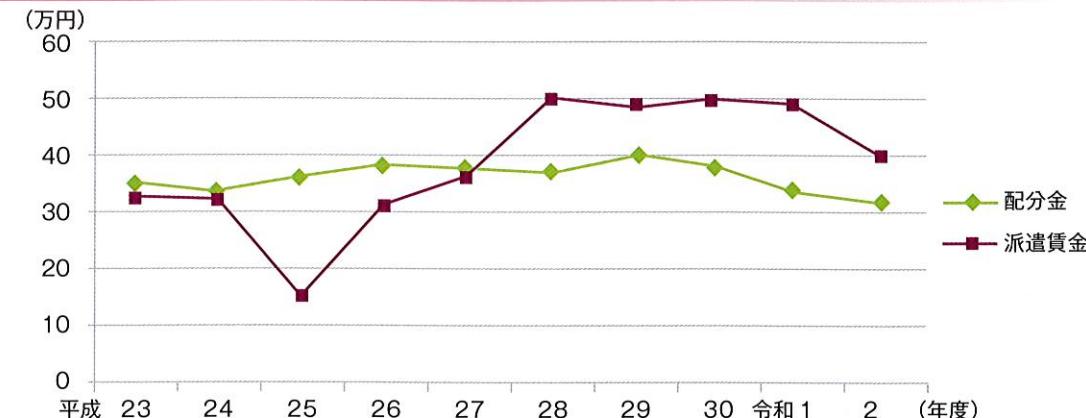
会員数と入退会者数の推移(単位:人)



契約高(単位:100万円)と就業率(単位:%)の推移



配分金と派遣賃金の平均推移(単位:万円)



令和3年11月1日現在の会員数(人)

地区	多紀	城東	篠山	西紀	丹南	今田	合計
会員数	48	29	148	31	151	33	440

令和三年度

## 定期総会の開催

### 入会十年表彰

### 設立三十周年記念事業



令和三年度重点目標  
①新規会員の拡大と退会の抑制  
②就業先提供と就業会員確保  
③生活支援事業の推進  
④会員の安全の徹底  
⑤適正な受託と就業の為の取り組み  
⑥広報活動や会員間情報共有をおこなう

提出的した全ての案件は、原案のとおり承認・可決されました。最後に、理事事が安全就業宣言を朗読し終了しました。  
議案第一号  
議案第二号(第十六号)  
監査報告について  
令和二年度収支決算並びに  
監査報告について  
議長は会員が出席十九名、書面議決三百二十名、総数三百三十九名により開催いたしました。

安全就業宣言の採択  
私たち公益社団法人丹波篠山市シルバーカー人材センター会員は知識と経験を生かし社会参加を通じて地域の発展に貢献します  
いつまでも仕事を通じて人生の喜びを感じられるよう仲間を作り仲間を支え傷害や物損事故のない就業を目指して活動することを宣言します



令和三年に設立三十周年を迎え、記念式典を盛大に開催しよう実行委員会を立ち上げ準備を進めましたが、コロナ禍でやむ無く中止となりました。式典は開催できませんでしたが、三十年の歴史をまとめた記念誌の発行と、当センターの今後益々の発展への願いを込め「希望ある未来へ」の文字を織込んだ記念タオルを作成し、会員はじめ関係機関等へ配布しました。また、兵庫県シルバーカー人材センター協会より、設立三十周年の表彰を受けました。

令和2年～  
令和3年

# 各種事業のあゆみ

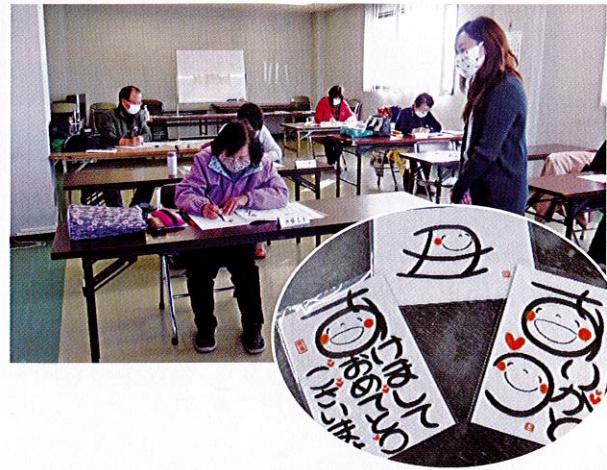
令和2年

- 11/30 生活支援研修** 「認知症という病気と認知症の方へのかかわり方について」  
講師：認知症キャラバンメイト

認知症の基礎知識と認知症の方との関わり方について、詳しく教えていただきました。  
ロールプレイング形式で対応の演習をし、今後就業先や地域、家庭で遭遇した場合に上手く対応できる知識を身につけることが出来ました。



- 12/4・7 笑い文字講座**  
講師：笑い文字普及協会公認講師



文字が笑顔のように見える「笑い文字」の初級講座と年賀状の書き方講座を行いました。最初は硬い表情で文字に集中していましたが、だんだんと笑い文字のように顔がほころび、ニコニコ笑顔で仕上げていました。  
新しいことを学ぶ良い機会になりました。

令和3年

- 2/12 栗剪定講習会** 講師：丹波ささやま栗振興会剪定士

昨年と同じ油井の栗園で講習会を行いました。  
12名の会員が参加し、基本となる技術について説明を受け、その後、実技講習を行いました。  
会員同士も声掛け合いながら、一体感のある実習となりました。20本の栗の木の剪定が出来、栗園の持ち主にも大変感謝されました。



- 3/16～4/26 小さな作品展** 開催場所：丹波杜氏酒造記念館 玄関ロビー

コロナ禍でおうち時間が増え、交流活動が停滞していることもあります、明るい話題づくりとして、会員の趣味の作品を持ち寄った「小さな作品展」を開催しました。22名の会員の作品はどれも手の込んだ素晴らしい作品でした。市の広報や丹波新聞にも取り上げられ、多くの方に披露できる場となりました。



令和3年

- 7/9 栗剪定結果講習会**

2月に行った栗の剪定講習会の結果（実なり）の確認をしました。  
実の数は普通で、生理落果により減少するので丁度良いとの評価でした。  
参加した会員は、剪定後の結果を確認することで次の年の剪定に活かせると、前向きな姿勢で受講していました。



- 7/13 生活支援研修**

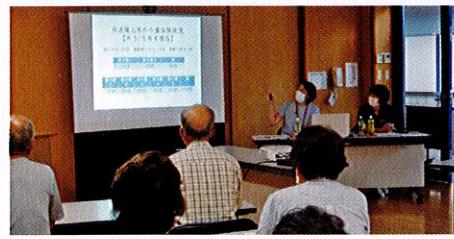
「丹波篠山市の高齢者支援の現状と高齢者施設について」

講師：東部地域生活支援センター

社会福祉士  
主任介護支援専門員

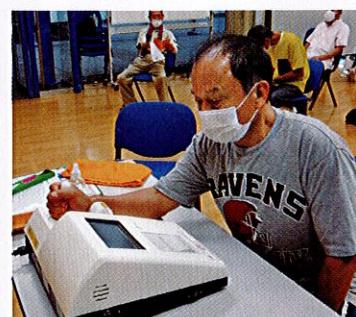
先生  
先生

丹波篠山市の高齢者支援の現状を詳しい資料を基に話していただきました。介護保険や高齢者施設、サービスや制度についても教えていただき、これから先においての不安や疑問を解消できる研修となりました。



- 9/3 基礎体力づくり講習**

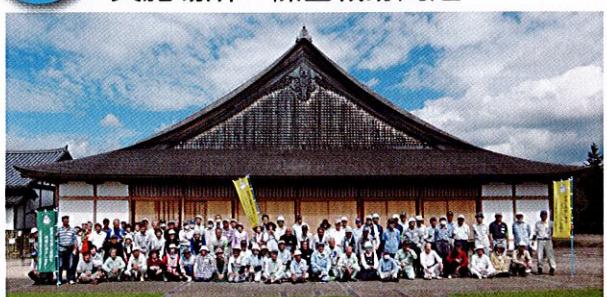
講師：兵庫県健康財団登録講師 健康運動指導士



楽しい講話を聞いた後、目新しい用具を使ってのストレッチと健康体操をしました。ポップなBGMに乗り、楽しく体を動かしました。  
その後には、骨健康測定機で骨の健康度を計測しました。ほとんどの会員が「心配なし」の判定でしたので、安心しました。

## 社会貢献活動

- 9/29 シルバーの日 奉仕作業**  
実施場所：篠山城跡周辺



### 目標 参加者100名!!

年々、皆さんの社会貢献意識が高まり、参加者が増えてきています。今年も100名には一歩及ばずでしたが、近年最多となりました。除草作業経験や道具が無くても大丈夫です。  
1人でも多くの参加をお願いします。



## シルバーパワーで 篠山城跡周辺が美しく！

近年最多の91名が参加し、地域社会への貢献と日頃からの感謝の意を込めて、篠山城跡周辺の一斎除草作業を行いました。  
丹波篠山市の観光シーズンを控え、美しいまちを楽しんでいただけるよう、会員がそれぞれの担当エリアを草引き、草刈、ツタ切り、草の集積等を協力して作業に取り組みました。  
酒井隆明市長から感謝と激励のお言葉をいただき、励みになりました。  
大勢の力で瞬く間に作業が進み、美しい城跡周辺となりました。



## 知人や友人へ シルバー人材センター入会を勧めてください。



### 就業分野

#### サービス分野

- 家庭内の清掃
- 買い物・食事つくり
- 病院つきそい
- 保育補助
- 高齢者の話し相手
- 見守り



#### 管理分野

- 駐車場管理
- 施設管理
- 貸館管理



#### 軽作業分野

- 施設や公園や催し場の清掃
- 草刈り・草引き(職群班業務)
- 工場内の軽作業(検品、袋詰等)
- 農作業手伝い(黒豆作業、田作業等)
- 片づけ ● 薬剤散布



#### 事務分野

- 宛名書き
- 毛筆筆耕



#### 折衝・外交分野

- パンフレット配布
- 販売受付



### 令和4年の定期入会説明会

場 所：丹波杜氏酒造記念館

時 間：午前9時～ 約2時間

月	日 (曜日)	月	日 (曜日)
1月	20日(木)	7月	20日(水)
2月	18日(金)	8月	19日(金)
3月	18日(金)	9月	20日(火)
4月	20日(水)	10月	20日(木)
5月	20日(金)	11月	18日(金)
6月	20日(月)	12月	20日(火)

#### 技能分野

- ふすま・障子はり
- 大工仕事
- 植木剪定・枝打ち伐採(職群班業務)
- ベンキぬり
- しめ縄づくり



概ね60歳以上なら、どなたでも入会出来ます。短時間や小日数の高齢者にふさわしい就業と、就業以外の諸行事や諸活動へ参加いただけます。会報を使い知人や近隣へ紹介をお願いします。

### 安全委員会から、事故防止へのお願い

昨年（11月末現在）、損害事故4件と傷害事故2件が発生しました。どちらも一昨年より1件増えています。

損害事故は、草刈り中の石飛による窓ガラス割れです。傷害事故は、靈園清掃中の蜂刺されと、会員同士の不意な接触による事故でした。センターからも事故防止策を提案しあるお願いしているところですが、結果に結びつかず残念です。作業前には、周囲の状況をよく確認し安全配慮をお願いします。

外仕事に限らず、どんな仕事でも事故は起こり得ます。慣れた作業こそ注意していただき、安全意識を高め臨んでいただきますようお願いします。

### 同好会会員募集

● ささゆりシルバー絵画クラブ  
毎月第1火曜日午後から

● 銀（しろがね）俳句会  
毎月第2火曜日午後から

どちらも事務所2階で行っています。  
ご興味のある方、初心者の方でもお気軽に  
にお越しください。

「会報シルバー」の編集に  
関わらせていただき三  
年になります。仕事紹介  
や夫婦会員紹介のページ  
については、記事を書い  
ていただき会員さんとお  
話したり、取材に行かせ  
ていただきたりします。  
その際に、会員さんの仕  
事に対する姿勢や情熱に  
触れ、感銘を受けます。シ  
ルバーの基本である「臨  
事」に対する姿勢や情熱に  
おられます。尊敬します。  
また、ご夫婦のお話を  
聞かせていただく時に  
は、少しばかりご夫婦の  
歩まれてきた道のりが見  
え、長い道のりがあつて  
今、幸運があるんだなあ  
と、生きるヒントをいた  
だいたような気がしまし  
た。

私は取りたくないと思  
います。ですが、年輪の様に色  
濃く年を重ねて行けたら  
いいなと思います。

会報編集委員会 担当

編集者  
つぶやき